

77. 福田村事件

関東大震災（大正 12 年、1923 年 9 月 1 日）から 100 年、新聞や TV で当時の被災状況や混乱の中で朝鮮人を大虐殺した事件などが多く報道されている。その中で「福田村事件」というのがあったのを知った。映画も公開され注目されている。

9 月 6 日、利根川沿いにある福田村（現千葉県野田市）で、香川県三豊郡の被差別部落からやってきた家族連れの薬売り行商人 15 名が神社で休憩中に、自警団の住民に襲われ、幼児や妊婦を含む 9 名が殺された。これが福田村事件。被害者は日本人だと主張した筈なのに、自警団が朝鮮人だと思ってなぶり殺した被害者は実は日本人だった、という事件だ。行商人たちが讃岐弁を使っていたことから朝鮮人と疑われたともいわれるが、悲しい限りだ。

大震災の火災による混乱で多くの人達がパニックになった時、「朝鮮人が井戸に毒薬を投げた、武器を持って襲ってくる」等のデマが広がったという。2 日には戒厳令が出て、在郷軍人や青年団、消防団などによる自警団が各地に結成された。自警団は猟銃や日本刀・竹やり等で武装し、朝鮮人を次々と問い詰めた。興奮した自警団は朝鮮人に暴行を加えて多くの虐殺事件が発生し、殺された朝鮮人は 6000 人以上と言われる。

公開中の映画を見た。胸が締めつけられる場面がいくつもあった。行商人のリーダーが必死に「警察の許可を得て行っている四国の人間だ」、と説明しても受け入れられず、仲間が酷い暴力を受ける中、どうしようもなくなって「朝鮮人なら殺してもいいのか」と叫ぶ場面があった。直後、仲間の一人の頭にとび口が刺さり倒れた。それからいっきに自警団は狂ったように殺戮をはじめ、阿鼻叫喚の修羅場。死体は利根川に流された。少し離れた場所で縛られていた 6 人にも危険が迫ったとき、地元の警察が飛び込んで「行商の許可証を持った日本人」が判明し、虐殺は免れて終わった。

生き残った行商の少年が殺された数について「(9 人ではなく) 10 人だ。もうすぐ生まれる筈だった。名前も決まっていたんだ、男なら望 (のぞむ)、女なら望 (のぞみ)」と言っていたのが耳に残る。家族同然で行動していたからだ。

香川県三豊郡から福田村は直線距離で 600 km。歩きなら 900 km 以上か。不便な時代に何故そんなに遠くからとも思えるが、行商でしか生きていけなかった部落差別が背景にあるのは間違いない。また日本人には、日韓併合で朝鮮が日本の植民地になって以降の朝鮮人に対する民族差別が根底にあり、大震災のパニックの中、「村を守らねば」という単純な思いと事実を確かめようとしないうえの恐怖心が、普段善良な個人が集団になったことで化けたということだ。

事件後、自警団 7 名が有罪判決を受けたが恩赦で釈放され、彼らには村から見舞金が支払われ、中には村長になった者もいたというが、地元は口を閉ざしたままだった。犠牲者に謝罪することもなかった。

一方、被害者の地元には唯一の資料である手記が残っていた（NHK 千葉）。その記述、
「取井（鳥居）ノソバデ、休ミテ居リタ処エ／青年会、ショボ（消防）、在郷軍人ガキテ／
鮮人ジャト（鮮人じゃと）ユウ人モアリ／棒ヤトビグチヲモッテ頭エブチコンダ」

先の映画での少年は当時 13 歳、心に深い傷を負い故郷に戻り老人になっても周囲に語らなかった。86 年（事件から 63 年後）、聞き取り調査に惨事を打ち明けた（千葉日報）。

仲間がすぐ目の前で殺されるのを目撃し「取り乱し意識がもうろうとした」。少年を含む生存者 6 人は同署（松戸警察署野田分署）に 1 週間ほど保護された。「吉田さんという刑事がいて『うちに同じ年ぐらいの息子がいるから家へ行かんか』と言ってくれた。二晩ほど泊めてもらい、息子さんと遊んだ」。

男性（少年）は94年に84歳で死去。晩年、家族に「吉田さんが忘れられない。一言お礼が言いたい」と話していたという。

2000年3月に香川で「千葉福田村事件真相調査会」が、7月に千葉で「福田村事件を心に刻む会」が結成され、事件から 80 年後の 2003年9月6日に犠牲者追悼の慰霊碑が建立された。

2023 年 6 月 20 日、千葉県野田市の鈴木有市長は市議会一般質問の答弁で、事件から今年で 100 年になることに関連し、「被害にあった人たちに謹んで哀悼の誠をささげたい」と述べ、市として初めて公式に弔意を表明した（NHK）。

迂闊にも今まで知らなかったが、私はいま、実家近くで 180 年前に起きた悲惨な大事件の資料を読んでいる。福田村事件とは背景が全く異なるが、封建時代のいわれなき差別事件だ。分厚い町史には何の記述もない。ほとんどの町民は知らなくなってしまったかも知れないが、昔の人は知っていても黙っていたのだろう。被害者の後継者が近くに住んでいる環境では話題にしくなかつたのだろう。正史に載せることの困難さもわからない訳ではないが、色々な差別問題は今でもあるのだから、事件を公にすることは歴史の教訓を学ぶことになり、人権啓発に資する意義は高いと思うのだが。

（2023 年 9 月 6 日）